

## 京都府連盟「2018年度 交流会」のお知らせ

交流会担当常任理事

本年度の京都府勤労者山岳連盟交流会を下記の要領で実施します。

今回は南部1ブロックの山城山の会、京都田辺山友会、らくなん山の会の3者が共同で担当します。多数ご参加ください。

開催日：11月17日(土)

14:00～17:00 講演会

演題：『「行ける山」から「行きたい山」へ  
科学のメス・メツ』

講師：山本正嘉先生（鹿屋体育大学 教授）

主催：教育遭難対策委員会

17:30～ 懇親会（バーベキューの予定）

11月18日(日) 交流山行

- 1) ハイキング  
・山背古道  
・らくなんトレイル（部分）
- 2) クライミング  
・志津川

会 場：公益財団法人 青少年野外活動総合センター「友愛の丘」

所在地…京都府城陽市寺田南中芝 80 TEL…0774-53-3566

Web…<http://yuai-no-oka.org>

参加費：宿泊者 6,500円（1泊2食付き）

懇親会のみ 2,500円（講演会参加を含む）

講演会のみ 500円

交流山行のみ 無料

※ 車で参加される場合は、駐車場整理料 500円/台 がかかります。

申込先：連盟交流担当 中塚光史（らくなん山の会）[n-mitsunobu@kcn.jp](mailto:n-mitsunobu@kcn.jp)

各会でまとめて申し込んで下さい。なお、申込様式は各会にメールで送付します。

申込締切：10月20日（土）

お詫び：7月号で山城運動公園と表示しましたが、木津川運動公園に訂正します。

京都府連盟交流会 講演会

教育遭難対策委員会

### 「行ける山」から「行きたい山」へ科学のメス・メツ

演 者：鹿屋体育大学 教授 山本 正嘉 先生

開 催 日：11月17日(土) 14:00～17:00(受付 13:30～)

開催場所：青少年野外活動総合センター「友愛の丘」

京都府城陽市寺田南中芝80 電話 0774-53-3566

参加費：講演会のみ出席者—500円（交流会参加者は無料）

山本先生はご自身もシブリン峰北稜の初登頂、チュ・オユー無酸素登頂などヒマラヤの八千メートル峰の登山歴があり各地の登山コースで求められる体力の数値化にも関わってこれ2016年長野県山岳総合センターから出された「登山コースのグレーディング表」にも関わっておられます。

「行きたい山」と「行ける山」の体力度を数値化してマッチングさせる試みなど登山に科学のメスを入れたお話を聞くことでこれからの山行に役立てていただければ幸いです。

山本先生のレポートでは「登山の大変さは主観でしか捉えることしかできませんでした。しかしコース定数やメッツという概念を用いると、目的とする登山コースがどれくらい大変なのか、自分がどの程度の体力を持っているかを科学的な数値で表すことが出来ます。両者をマッチさせるような登山をすることで、より安全な登山が実現できるのです」と結ばれています。

## 自然保護セミナー 「リニア新幹線問題を考える」 報告

自然保護委員会



7月19日（木）全国労山リニア対策特別委員会事務局長、静岡県連会長の竹本幸造氏を講師に迎え中京いきいき市民活動センターで行った。京都府岳連の自然保護担当も2名参加していただき、25名の参加者で熱気あふれる学習会になった。7月7・8日に全国連盟の自然保護講座で現地視察が行われたが、台風11号直後で作業員宿舎が建設されている二軒小屋までいけず樫島で帰ってきたと報告された。

これまでのリニア問題の取り組みは2014年全国登山者自然保護静岡集会で記念講演と反対アピールを採択し、現地の状況調査や署名を取り組むことが話し合われた。リニアありきで安倍政権は当初JR東海が単独で取り組むとしてきたのに会長とお友達であることも関係してか3兆円の財政投融資を決め国家的事業として全面支援をしている。工事をめぐって談合入札が行われたと報道されており、巨大プロジェクトに利権がからみ、まさに食べ物にされている。2017年8月に長野県側のトンネル出口の大鹿村で地元民や登山者などと反対集会が行われた。

品川から名古屋の計画の286kmのうち86%がトンネルになり、南アルプスの転付峠から荒川岳の下を通る。中国でもリニアが走っているらしいが磁力で9mm浮上するだけなのに、日本のは10cmも浮かすようである。各車両に4つの冷蔵庫で液体ヘリウム（-269度）を冷やし超伝導状態（電気抵抗が0）し、強力な電磁石をつくる。無人運転で遠隔操作される。超伝導と常伝導になる現象が起り、壁にぶつかることが中国では起きている。南アルプスのトンネルで起こった場合、地上に出るまでに1600m以上登り、出口は3000mの山岳である。静岡県の4山岳団体で静岡県知事、静岡市長に南アルプスの自然破壊につながるリニア工事には反対を申し入れた。県知事はオール静岡で対処するとして現在JR東海と協定は結んでいない。6月に静岡市長が井川村のトンネル工事で地元の懸案事業が解決できるとして賛成するような発言をし、批判を受けた。南アルプスは年4mmずつ隆起しており、いかに高い技術があっても問題がある。またトンネル工事で大量の土砂が排出され、東京ドーム50杯分（5700万立方m）にもなり、大井川源流部に積み上げられトラックで運ぶ。行き先は未定のまま。また同時に大

量の地下水も寸断され、自然への影響ははかりしれない。現在山梨県早川町ではトンネルを掘り始めている。残土は河川に積まれている。岐阜県の瑞浪市ではウラン鉱床地帯を掘り、放射能の影響が心配される。愛知県春日市では亜炭層の中を掘るが地盤がゆるいので陥没などが心配される。自然をブルドーザーで壊す行為は必ず自然からしっぺ返しをくらうだろう。またリニアは新幹線の3.5倍もの電力を必要とする。原発の電力がこのために必要になる。まさに原発とセットなのです。リニア新幹線は当の社長が採算は取れないと言っている。こんなばかげた巨大プロジェクトに国民の税金を投入して造る意味は何なのか。だれが必要としているのか。我々は黙ってはいけぬ。熱く語られ、もっと知らせていこうと結ばれた。

#### 感想文

○「百害あって一利なし」のリニア新幹線建設計画について、くわしい資料とていねいなお話でよくわかった。国民の足を守る公共交通が大企業のための利益を生み出すものになっている。一方、赤字ローカル線は次々と廃止され、北海道では、住民が生活できなくなっている。北陸新幹線の大阪延伸も、京都に大きな悪影響をもたらす。問題点をもっともっと広めていかねばと思う。 乙訓山の会 松方隆

○尾瀬の長蔵小屋の話をつつも思いながら、リニアのことを考えていました。①自然保護、②水源、③生活の視点で斗かわれた先人に学びたいです。ただ、その声に耳を傾ける政治家がいないことが、今の日本の危機的な状況があるので、きびしい斗いだと思います。署名を広めたいと思います。裁判でこの問題を明らかにして欲しいと願っています。よろしく願います。 らくなん山の会 深津充子

○リニアとは何か、リニアを作ることで水枯れや残土、自然が壊されていくことがよくわかりました。一度壊れたものを元にも戻すことは、本当に大きなエネルギーと時間が必要です。その意味でも、正しい知識と現状をきちんと知る良い機会になりました。無関心でいることなく、少しでも関心を持っていきたいと思ひます。

○遠方から丁寧な説明ありがとうございます。問題点だらけということはわかりました。自然や環境破壊してまでも・・・との点で署名が集めることができるのでしょうか。でも、これだけ次々と問題点が出てくるのに「納得できる解答があるまで、とりあえず凍結せよ！」と詰めることはできないものかと思ひます。裁判も力になればいいのですが。

右京労山 河合恵子

○反対の世論を高めるための環境破壊等の問題点を「日本学術会議」とか「科学者会議」など専門家集団からの反対声明を出してもらうなど世論づくりに役立つ活動もとりくんでほしい。

乙訓山の会 安井冽

○多くの資料を用意していただきお話や提示されたポスターもとてもわかりやすく「何とかしなければ」という思いを強くしました。資料はこれから熟読の上自分の所属する会で、学んだことの一部でも分かち合い、できることから一署名からやっていき大きな流れにしたいと思ひます。

入江しのぶ

○関西に住んでいると、ほとんどリニアの問題を耳にすることはないので、普段あまり関心を持っていなかったが、経済の発展と比例する膨大な費用とリスクなのか考えた時、今後工事がすすむにあたっておきる問題点、さらには運行されてからおきる今までの鉄道事故では想像できない事故がおきることを想定すると何とムダな工事だと思ひました。

氏野恵子

○たくさんの資料で、時間内には読みきれませんでした。詳しく話していただき、知らないことが本当にたくさんありました。人の生活、自然（森の生き物）を大切にしない今の政治のあらわれがリニア問題なのだと改めて思いました。山を楽しむために山の仲間をはじめ周りの人たちに少しずつでも問題点を知らせていかなければと思います。

星野敦子

○たくさんの資料を用いて説明してもらったので、特に水と残土問題について理解が深まりました。南アルプスが隆起中であること、トンネルによって水がれから失われるととんでもないことになる（山崩れが起こる）こともよくわかりました。日本科学者会議でも 2014 年ぐらいから特集を組んでリニア問題点をまとめている様ですので、是非ともご参考にしてください。リニアの工事を中止させるにはどうしたらよいか悩みます。

中村みさ子

○すでにこれだけの自然が破壊されているということに愕然としました。私は南アルプス市と早川町の間、富士川町の出身ですので、リニアにはとりわけ南アルプスを貫通することに非常に危惧感をもっていました。ただ漠然と山の神さんが怒るに違いないと思っていましたが、学術的にもひどいことだということがわかりました。遠く離れていてもしっかり勉強して多くの方々に真実を知ってもらう必要を感じました。早川町の残土が富士川の川原に置かれている話は、とりわけ心が痛みました。

和田千恵

○リニア問題について、良く理解できていない、資料を良く読ませていただきたいと思います。経済的には将来的にも人口減の現状を踏まえ、JR 東海は採算を取れないと思うので、その場合に当初に制定した自然保護対策が放置されるのではないかと心配になる。遠くにいて他人事のように思っていたことを反省しています。

岡田

○竹本氏の熱心な活動報告のお話、ためになり感動しました。がんばっていただきたいです。

山本憲彦

○新聞、TVではわからない「裏側」を知ることができました。大きな力はありませんが、大きな怒りはあります。自然を守りたいという思いが大きくなりました。

林稔子

○竹本さんの手づくりマップを使っての説明は、大変よくわかりました。南アルプスの山は、プレートが年に 2~10cm の速さで動き、標高が高くなるなか、リニアの鉄やコンクリートは、山の動きに対応できない。東京ドーム 50 杯分の残土の行先がほとんど確定されていない。谷や河川敷に埋めるとしても、人為による災害発生の原因になる。不十分な水枯れ対策は、生活環境の破壊になる。新幹線の 3.5 倍の電力消費は原発頼り。強力な電磁波による人体への影響がある。10 年後の日本人の人口 20% 減の中で客だけが 1.5 倍になるという予測。採算が取れないことは明らかです。リニアの実態を知らせながら署名を集め、裁判を応援したいと思います。目標の 3 万筆達成めざそう!!

やましな山の会 射場寿美子

※ 全国連盟は、7 月全国から集められた「リニア新幹線で南アルプスの自然を壊さない要請に賛同する」署名 1 万 1131 筆分を国会に提出しました。引き続き 3 万筆めざし署名活動をすすめています。

※ 当日竹本さんが使用された「リニア新幹線問題」の資料（A3 両面 11 枚）が十数部あります。必要な方は、各会の自然保護委員又は平尾（090-9861-6834）まで